

2 感染症予防

(1) 感染症発生状況

感染症発生動向調査

感染症の蔓延を防止するため、医療機関の協力を得て患者の発生状況や、病原体検出結果等の流行実態を早期かつ的確に把握し、情報を速やかに地域に還元することにより、有効かつ適切な予防対策の確立に資することを目的として毎年実施している。

平成20年4月に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律が改正され、平成20年5月に施行となった。これにより、鳥インフルエンザ（H5N1）が二類感染症へ変更された。

平成21年度は、世界的に新型インフルエンザ（H1N1）が流行し、当所においても国・県のガ

イドライン等に基づき、終日の専門相談窓口の設置など相談体制の整備を行った。また、当該患者が特定の医療機関に集中することによる混乱を防止するために、管内の医療サービス提供体制整備に努め、随時、管内医師会・医療機関・行政機関等との連携会議を開催した。

ノロウイルス予防対策に関しては、施設内感染（疑い含む）のあったところへ流行期早期に訪問し、予防対策について話し合った。医療機関・高齢者施設・旅館等から、感染性胃腸炎の患者対応や二次感染予防に関する相談が多く寄せられた。

表 11-1 感染症発生状況（全数報告）

病類別		年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
一類			—	—	—	—	—	—	—
二類	結核（H19年度より）		/	/	/	/	58件	41件	39件
	その他		—	—	—	—	—	—	—
三類	コレラ		—	1件	—	—	—	—	—
	細菌性赤痢		1件	1件	—	1件	—	—	—
	腸管出血性大腸菌感染症		16件	17件	8件	20件	13件	20件	28件
	腸チフス		—	—	—	—	—	—	—
	パラチフス		—	—	—	—	—	—	—

表 11-2 感染症予防相談状況（延件数）

	平成20年度				平成21年度			
	訪問相談	来所相談	電話相談	計	訪問相談	来所相談	電話相談	計
感染症総数	158件	106件	880件	1,144件	238件	74件	5,442件	5,754件
(再掲)腸管出血性大腸菌感染症	85件	18件	340件	443件	128件	36件	412件	576件
(再掲)鳥インフル	0件	2件	48件	50件	2件	0件	19件	21件
(再掲)感染性胃腸炎（ノロウイルス含）	51件	5件	165件	221件	22件	7件	147件	176件
(再掲)アタマシラミ	2件	0件	10件	12件	0件	0件	6件	6件
(再掲)新型インフルエンザ（H1N1）	2件	0件	30件	32件	81件	28件	4,766件	4,875件

(2) 新型インフルエンザ（H1N1）の相談・対応状況について

国及び県の対策に沿って、当保健所においても関係機関との連絡会や、一般住民に対する健康観察などの対応を行った（表 12-1）。

平成 21 年度における新型インフルエンザに関する一般住民からの相談件数は、計 3,638 件に及んだ（表 12-2）。

表 12-1 国・県・南加賀保健所の対策（時系列）

時期	国の対策	県の対策	南加賀保健所の対策
H21/4/25～	<ul style="list-style-type: none"> WHO 緊急委員会の報告を受け、ブタインフルエンザ対応連絡通知（4/26） TEL 相談窓口開設（4/25） 	4/26 県対策警戒本部 連絡会議開催	4/26～ 相談窓口開設
H21/4/28～	<ul style="list-style-type: none"> WHO、パンデミック警報レベル「フェーズ 4」発表 対策本部設置 検疫所での水際作戦 	4/28 <ul style="list-style-type: none"> 県対策本部設置 関係機関との連絡調整 発熱外来、発熱相談センター設置 PCR 検査実施 サーベイルランス体制調整他 	<ul style="list-style-type: none"> 管内関係機関による連絡会議、医療体制検討会開催 健康観察 発熱相談センター業務（24 時間） 検体搬送 管内患者発生なし
H21/7/24～	サルベイルランス体制省略 <ul style="list-style-type: none"> クラスター報告基準（1 週間で 2 人以上） 8/25～患者発生届省略 	<ul style="list-style-type: none"> 発熱外来閉鎖 全医療機関受診可能 相談センター設置 7/24～サルベイルランス体制変更 	<ul style="list-style-type: none"> 発熱相談センターを閉鎖し、相談センター業務開始 積極的疫学調査の実施 感染症サルベイルランス業務、検体搬送 医療機関連絡会議、研修会等開催（9/3、9/14）
H21/10/8～	サルベイルランス体制変更 <ul style="list-style-type: none"> クラスター報告基準（1 週間で 10 人以上） 	<ul style="list-style-type: none"> 10/12～サルベイルランス体制変更 	<ul style="list-style-type: none"> 市町広報依頼
H21/10/19～	<ul style="list-style-type: none"> サルベイルランス体制継続 ワクチン接種体制整備（ワクチン接種スケジュールが随時前倒しに変更あり） ワクチンの供給 	（国と同様） <ul style="list-style-type: none"> ワクチン接種医療機関の整備 ワクチン接種予約について広報 ワクチン予約状況調査及びワクチン配布 	上記に加え <ul style="list-style-type: none"> ワクチン接種に係る相談業務 診療体制に係る医師会との相談

表 12-2 発熱相談センター・新型インフルエンザ相談窓口件数（対象：一般住民 月別集計）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
電話相談	17	1,028	461	304	315	194	439	553	199	65	29	3	3,607
来所相談	1	6	0	2	7	4	2	0	2	0	0	0	24
その他 (メール等)	0	3	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	7
計	18	1,037	461	306	323	200	441	554	201	65	29	3	3,638

表12-3 感染症発生動向調査月別患者報告数(週報)

平成21年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
インフルエンザ		管内	1,128	1,146	1,053	479	62	5	1	10	10	358	1,711	1,426	7,389	
		県内	4,603	3,722	4,310	2,018	441	39	53	170	158	2,571	10,270	6,459	34,814	
小児科	RSウイルス感染症	管内	10	2	3	8	12	9	10	22	8	27	5	17	133	
		県内	2	29	30	26	43	16	17	26	15	32	12	29	277	
	咽頭結膜熱	管内	11	4	9	5	5	9	15	6	5	5	6	10	90	
		県内	76	39	55	41	55	59	72	44	25	13	41	42	562	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	34	41	36	26	45	45	26	9	10	19	15	20	326	
		県内	236	253	231	171	285	233	120	46	45	85	67	111	1,883	
	感染性胃腸炎	管内	240	215	287	237	288	208	149	102	111	212	161	117	2,327	
		県内	1,027	775	1,330	1,220	1,156	640	568	356	355	497	443	558	8,925	
	水痘	管内	70	70	55	52	53	53	52	29	27	41	30	45	577	
		県内	232	218	220	234	297	207	175	100	83	129	150	254	2,299	
	手足口病	管内	0	0	0	0	0	0	0	7	28	15	16	7	0	73
		県内	0	2	3	17	18	7	45	88	53	46	25	8	312	
	伝染性紅斑	管内	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4	
		県内	4	2	7	8	3	1	0	3	0	3	2	0	33	
	突発性発疹	管内	14	12	8	14	12	9	17	12	8	13	14	10	143	
		県内	55	49	49	90	63	51	78	56	51	58	43	51	694	
	百日咳	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
		県内	0	0	0	3	4	0	3	0	0	1	1	0	12	
	ヘルパンギーナ	管内	0	0	0	0	2	2	5	84	61	21	4	1	180	
		県内	1	0	2	1	11	15	107	373	209	52	14	1	786	
流行性耳下腺炎	管内	5	2	2	1	1	5	9	18	18	21	26	42	150		
	県内	20	35	45	74	109	134	128	85	89	124	75	145	1,063		
眼科	急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	管内	0	0	0	0	0	1	0	19	1	0	0	0	21	
基幹	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	管内	1				1							1	3	
		県内	1				2							1	4	
	無菌性髄膜炎	管内													0	
		県内			1							1			2	
	マイコプラズマ肺炎	管内	9	3	5	5	4	11	7	6	3	8	8	14	83	
		県内	9	4	5	5	6	14	7	6	3	8	10	13	90	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	管内													0		
	県内													0		
STD	性器クラミジア感染症	管内	2	3	1				1	2	2	3	3		17	
		県内	18	13	8	12	20	19	15	17	22	21	9	10	184	
	性器ヘルペスウイルス感染症	管内	1	1		3	1	1		1	1	1	1	1	12	
		県内	8	11	8	6	5	9	2	11	7	7	5	5	84	
	尖形コンジローム	管内		1						2					3	
		県内	4	2	5	3	5	2	6	3	6	1	5	2	44	
淋菌感染症	管内		1	2										3		
	県内	4	2	9	5	5	6	3	4	8	5	9	10	70		
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	管内	3	5	3	8	4	3	4	4	3	3	3		43	
		県内	18	26	29	23	17	19	14	15	19	24	13	20	237	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	管内													0	
		県内		2			1					1			4	
薬剤耐性緑膿菌感染症	管内													0		
	県内				1	1	1				2			1	6	

表13 感染症発生動向調査月別患者報告数(月報)

平成21年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
STD	性器クラミジア感染症	管内	2	3	1				1	2	2	3	3		17
		県内	18	13	8	12	20	19	15	17	22	21	9	10	184
	性器ヘルペスウィルス感染症	管内	1	1		3	1	1		1	1	1	1	1	12
		県内	8	11	8	6	5	9	2	11	7	7	5	5	84
	尖形コンジローム	管内		1						2					3
		県内	4	2	5	3	5	2	6	3	6	1	5	2	44
淋菌感染症	管内		1	2										3	
	県内	4	2	9	5	5	6	3	4	8	5	9	10	70	
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	管内	3	5	3	8	4	3	4	4	3	3	3		43
		県内	18	26	29	23	17	19	14	15	19	24	13	20	237
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	管内													0
		県内		2			1					1			4
	薬剤耐性緑膿菌感染症	管内													0
		県内				1	1	1			2			1	6

(3) インフルエンザ様集団かぜ発生状況

(表14-1)、(表14-2)

平成21年度冬期の発生状況として、9月1日に加賀市立錦城中学校で新型インフルエンザを疑わせる集団発生があり、10月下旬頃から拡大が顕著となった。11月には措置施設が30を越え、ウィルスサーベイランスの結果からも、この頃よりA型であれば新型インフルエ

ンザという認識が定着した。さいわい12月下旬には鎮静化し、年度内では翌年1月26日の小松市立国府台小学校の報告が最後のものであった。

表14-1 市町別インフルエンザ様集団かぜ発生状況(平成21年度冬期)

区分	石川県	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町
施設数		104	54	34	12	4
発生施設数	462	93	47	30	12	4
在籍数(人)	23,045	5,858	3,277	1,263	1,177	141
患者数(人)	6,983	1,666	943	374	292	57
	—	—	—	—	—	—
措置状況	休校	58	6	4	—	2
	学年閉鎖	272	65	29	24	8
	学級閉鎖	132	22	14	6	2
		—	—	—	—	—

注：在籍者及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計
注：同一施設で措置が変更した場合は、休校・学年閉鎖・学級閉鎖・授業打ち切りの措置規模の大きい方をカウントしてある。

表14-2 感染症発生動向調査月別患者報告数

平成21年度 (単位:人)

定点	疾患名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
インフルエンザ		管内	479	62	5	1	10	10	358	1,711	1,426	178	26	39	4,305
		県内	2,018	441	39	53	170	158	2,571	10,270	6,459	899	314	80	23,472

(4) エイズ相談状況 (表 15-1) (表 15-2)

エイズに対する正しい知識の普及及び、感染者の早期発見・早期治療を目的に、エイズ相談窓口を設け、検査を希望する場合は HIV 抗体検査を実施している。平成 17 年 12 月 1 日からエイズ予防対策をより一層推進するため、HIV 迅速検査免疫クロマト法を導入した。平成 21 年度は受検者の利便性を考慮し、午前中及び夜間の検査について、予約なしで迅速検査を行った。平成 22 年 3

月からは、午前中のみ迅速検査を行い、夜間は PA 法とし、全て予約制へ変更している。

HIV 検査普及週間及び世界エイズデーでは、JR 小松駅で街頭キャンペーンを実施し、検査日の記入されたポケットティッシュを配布した。また、若者の受検者の増加を図るため管内の大学や自動車学校等においても、検査について啓発普及を行った。

表 15-1 エイズ相談実施状況

平成 21 年度 (単位: 件)

	相談件数			相談内容				相談方法		
	男	女	計	相談のみ	病院紹介	検査依頼	計	来所	電話	計
昼間	182	91	273	87	1	185	273	197	76	273
夜間	69	40	109	3	—	106	109	109	—	109
合計	251	131	382	90	1	291	382	306	76	382

表 15-2 HIV 抗体検査実施状況

平成 21 年度 (単位: 件)

	受検者数			陽性者数			(再掲) 迅速法による検査		
	男	女	計	男	女	計	受検者	要追加検査数	陽性者数
10 歳代	10	6	16	—	—	—	14	—	—
20 歳代	57	60	117	—	—	—	105	—	—
30 歳代	81	20	101	—	—	—	94	—	—
40 歳代	34	3	37	—	—	—	33	—	—
50 歳代	16	4	20	—	—	—	17	—	—
計	198	93	291	—	—	—	263	—	—
(再掲) 夜間			106			—	95	—	—

(5) 性感染症相談状況 (表 16-1) (表 16-2)

性感染症に対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、性感染症相談窓

口を設け、検査を希望する場合はクラミジア及び梅毒検査を実施している。

表 16-1 性感染症相談検査実施状況

平成 21 年度 (単位: 件)

区分	相談件数	梅毒血液検査				性器クラミジア感染症血液検査				
		計	陽性	陰性	判定保留	計	陽性	偽陽性	陰性	判定保留
男	124	114	—	114	—	114	7	5	102	—
女	74	57	—	57	—	57	12	1	44	—
計	198	171	—	171	—	171	19	6	146	—

表 16-2 性感染症検査 性別・年齢別実施件数 平成 21 年度 (単位：件)

区分	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
男	115	5	33	45	20	7	5
女	58	3	36	11	3	2	3
計	173	8	69	56	23	9	8

(6) 肝炎ウイルス相談事業実施状況 (表 17)

肝炎ウイルスに対する正しい知識の普及及び
感染者の早期発見・早期治療を目的に、肝炎ウイ

ルス相談窓口を設け、検査を希望する場合は肝炎
ウイルス検査を実施している。

表 17 肝炎ウイルス相談検査状況

平成 21 年度 (単位：件)

区分	HCV 抗体検査						HBs 抗原検査			相談 件数
	計	陰 性	中力価及び低力価			高 力 価	計	陰 性	陽 性	
			HCV 抗原検査		陽 性					
			陰 性	陽 性						
		HCV-RNA 陰性	HCV-RNA 陽性							
男	97	97	—	—	—	—	97	97	—	215
女	53	53	—	—	—	—	53	53	—	
計	150	150	—	—	—	—	150	150	—	

(7) 石川県緊急肝炎ウイルス検査事業実施状況 (表 18)

県民の肝炎ウイルス検査の受検機会を拡大し、
肝炎の早期発見、治療の推進を図ることを目的と

し、肝炎ウイルス検査を医療機関においても実施
している。

表 18 石川県緊急肝炎ウイルス検査状況

平成 21 年度 (単位：件)

区分	HCV 抗体検査						HBs 抗原検査		
	計	陰 性	中力価及び低力価			高 力 価	計	陰 性	陽 性
			HCV 抗原検査		陽 性				
			陰 性	陽 性					
		HCV-RNA 陰性	HCV-RNA 陽性						
計	1,447	1,433	12	—	—	2	1,447	1,438	9

(8) 「世界エイズデー」に係る普及啓発事業

ア 目的

若者のエイズや性感染症の蔓延の防止と、適切で有効な性教育体制の構築を目指し、平成21年度において加賀市で思春期健康教育事業の一環として中学3年生を対象に性の講演会を開催した。

当センターは、加賀市健康課と地区まちづくり推進協議会等の協力を得て、2校の中学校下の保護者(小・中学校及び高校生の親)を対象に、性に関して思春期の子どもとどう向き合ったらよいかを考える機会とするため、講演会を開催する。

イ 内容

- ①・日時 平成21年11月18日(水)
午後7時00分～9時
- ・会場 加賀市片山津地区会館
- ・グループディスカッション
- ・講演「思春期の子どもと向き合うために」
～地域で考えよう生と性～
講師 さたけ産婦人科
院長 佐竹 紳一郎 氏
- ・対象者 : 片山津、橋立中学校下の保護者、
教員、町づくり協議会員等
- ②・日時 平成21年11月25日(水)
午後7時00分～9時
- ・会場 加賀市山代地区会館
- ・グループディスカッション
- ・講演「思春期の子どもと向き合うために」
～地域で考えよう生と性～
講師 さたけ産婦人科
院長 佐竹 紳一郎 氏
- ・対象者 : 山代中学校下の保護者、教員、
町づくり協議会員等

(9) 肝炎対策推進事業

ア 肝炎ウイルス感染者フォローアップ事業

(ア) 目的

診断後間もない肝炎ウイルス感染者が自身の病態を正しく認識し、長期間にわたる経過観察や治療を継続して行えるよう支援する。

(イ) 開催日

平成21年11月30日(月) 14:30～17:00

(ウ) 参加者

平成18年度から20年度の市町の肝炎ウイルス検診で感染者と確認された者。

ミニ講話【本人17名、家族等2名】

個別相談【本人15名、家族等1名】

(エ) 内容

・ミニ講話「肝炎について」

講師 : 金沢大学医学部附属病院

光学医療診療部准教授

酒井 明人 医師

・個別相談

助言者 : 金沢大学医学部附属病院

光学医療診療部准教授

酒井 明人 医師

小松市民病院

副院長 亀田 正二 医師

・座談会

個別相談の待ち時間に実施

イ 石川県医師会肝炎研修会(県医師会委託)に協力

(ア) 目的

肝疾患の診療体制を整備し、かかりつけ医との連携を推進するため、医療従事者研修会を開催する。

(イ) 開催日

平成21年12月15日(火) 19:00～

(ウ) 内容

「南加賀地区における肝炎ウイルス検診の現状」

小松市民病院 副院長 亀田正二 医師

「石川県肝炎診療連携と全国の状況

～肝炎対策基本法を見据えて～」

金沢大学医学部附属病院 光学医療診療部

准教授 酒井 明人 医師